



第67回国民体育大会

ぎふ清流国体

輝けはばたけだれもが主役

2012

国体推進室
内線217

ソフトテニス競技 9月30日・総合公園テニスコート
ウエイトリフティング競技 10月6日～8日・セラトピア土岐

土岐市シンボル旗 「ギフとフラッグ」が完成!

土岐市の「お宝」の絵が描かれた「ギフとフラッグ」が完成しました。

フラッグは、市内の皆さんから応募のあった108点の絵の中から、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会総合プロデューサーの日比野克彦氏が選んだ7点の絵を基にデザイン画を作成。6月9日～11日にセラトピア土岐で製作ワークショップを開催し、多くの市民の方にご協力いただきました。ギフとフラッグは縦2m×横3mの大きな旗で、3cm四方の小さな布片約2万6千枚を貼り付けて作成しました。完成した「ギフとフラッグ」は、7月30日(月)に開催する土岐市炬火リレーなどで披露されます。

【絵が採用された皆さん】

- 焼き物工場 上原博志さん
- ききょう 澤田沙佑里さん
- 流鏝馬 榊原吉恵さん
- 土岐川 土屋明梨さん
- 稚児岩大橋 塚本小雪さん
- 織部焼(茶碗) 長瀬珠里さん
- 織部焼(皿) 安藤仁那さん



11日のワークショップに参加した皆さんがミナモと記念撮影。

平成4(1992)年
「広報とき」より



平成3年8月1日号掲載



稚児岩大橋が20歳に〈7月1日号掲載〉

主要地方道多治見・恵那線駄知バイパスに、肥田川をまたぐ「稚児岩大橋」がこの年の6月22日に開通しました。事前に募集し、応募のあった4組の三世代夫婦を先頭に、関係者をはじめ多くの市民が「渡り初め」に参加。橋の完成を祝いました。橋の名称募集には517通もの応募があり、このことから市民の皆さんの橋への強い思いが伝わってきます。

今は昔、土岐市に美しい橋が完成した年。世間では、貴花田(貫乃花)が史上最年少で初優勝を飾ったことが話題となりました。今月は20年前の平成4(1992)年の土岐市を振り返ります。

あのとき、ときは